

# 朝日印刷株式会社

## グリーンボンド・フレームワーク

はじめに

朝日印刷グループは、医薬品・化粧品分野を中心とする印刷包材事業をコアの事業領域として、「美と健康」に関する分野で、包材を核とした商品と様々なサービスを提供する事業を展開しております。

当社は、現在の当社グループの経営資源と、取り巻く社会情勢等に鑑み、以下の経営理念と基本方針を定めております。

### 朝日印刷グループ経営理念

【創業200年の夢】“自分の子供や孫の世代も入社させたい”

朝日印刷グループで働く世界中の誰もが、そう思える会社を創りたい

私達は、美と健康の包装に関する分野で

包むところを大切に、日本と世界へ新しい包装文化を発信する

### 朝日印刷グループ基本方針

#### お客様本位

私達は、常にお客様の立場に立って考働し、笑顔と感動を提供する企業を目指します

#### 選ばれる企業

私達は、世界中のお客様に安心・安全と、新たな付加価値のある商品・サービスを提供します

#### 働きがい企業

私達は、Asahiファミリーとしてお互いを思いやり、笑顔が溢れる企業を目指します

#### 社会貢献

私達は、暮らしと心の豊かさを大切に、社会から尊敬される企業を目指します

こうした経営理念と基本方針のもと、2017年4月からは中期経営計画「AD2021計画」をスタートさせ、以下の10の長期ビジョンを実現させることで、グループ内連携によるお客様対応力を強化し、更なる信頼関係の構築とグループ全体の企業価値向上に努めております。

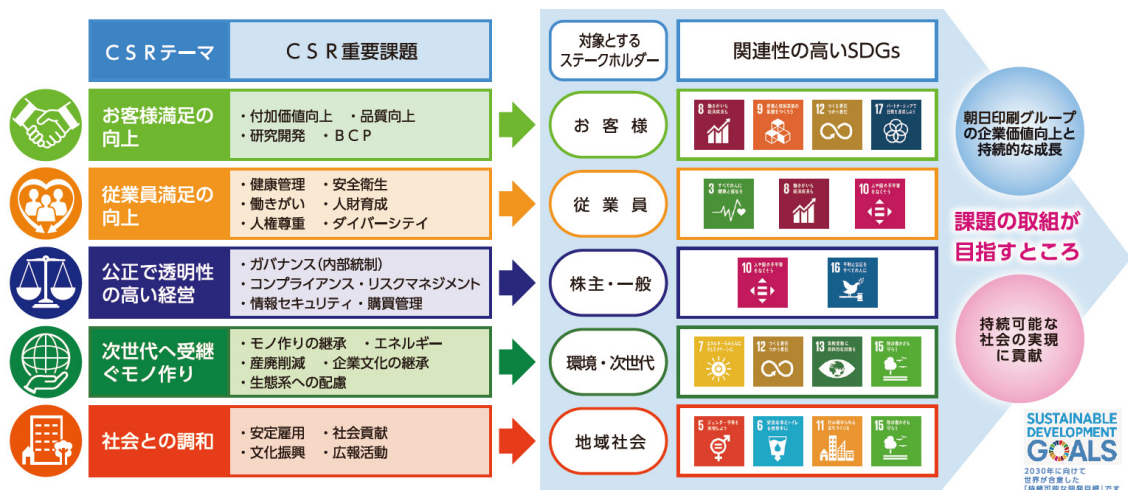
### 10の長期ビジョン

戦略的売上拡大	ファーストコールカンパニーとして、美と健康市場でシェア No.1 を極める
利益追求	付加価値生産性の最大化を目指し、営業利益率 10%以上を目指す

お客様満足向上	全社一丸となった最高の商品・サービスを提供し、お客様に選ばれ続ける企業を目指す
海外進出	Asahi ワンストップサービスを実現し、海外市場における販売・製造拠点を確立する
人材育成	多様な人材を獲得し、業界 No.1 企業として幅広い知識と経験を持った人財を育成する
技術・開発	他社に先駆けたオリジナルイノベーションを創出し、包装業界をリードする
働き方改革	ワークライフバランスのとれた従業員満足度 No.1 企業を目指す
財務戦略	計画的な財務戦略に基づき、環境変化に柔軟に対応した経営を実現する
CSR	安心・安全・環境をテーマに、地域社会に貢献できる企業を目指す
グループ戦略	Asahi グループ全従業員が、最高のパフォーマンスを発揮できる体制を構築する

## CSR 方針

当社は、美と健康の包装に関する事業を環境と調和させ、未来に向けて継続することで社会的使命を果たし、お客様と社会に貢献していくことを目指しています。そのために、朝日印刷の CSR 活動に対する基本的な考え方を定め、その活動を 5 つのテーマに分けて推進しております。



5つのテーマのうち、環境に関わるテーマとして、「次世代へ受け継ぐモノ作り」を挙げています。

当社は、美しい地球を守ることの重要性を認識し、環境保全を意識したモノ作りに継続的に取り組んでおります。「地球環境の保全」、「生物多様性」、「気候変動の緩和」、「持続可能な資源の利用」に配慮した企業活動を推進し、社会的責任を果たしていきます。(朝日印刷株式会社の環境基本方針)

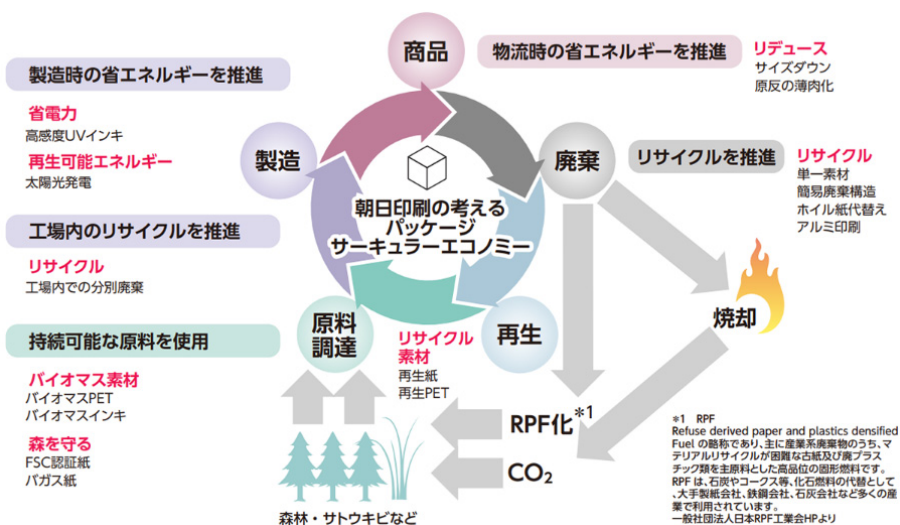
なお、環境活動に取り組むにあたって、次の項目を環境指標として捉えています。この環境指標は市場動向や社会のニーズなどに合わせて定期的に見直しを行っています。

● 電力使用量	● A重油使用量
● ガス使用量	● 水使用量
● 原紙購入量における森林認証紙の比率	● 産業廃棄物排出量
● リサイクル率（総廃棄物量において、何らかの形でリサイクルされる廃棄物の比率）	● CO2 排出量
	● PRTR 物質移動量



また、当社は、下図で示すような、包装というサーキュラーエコノミーの一部を担っているという認識のもと、CO2削減、リサイクルの推進、認証紙の使用や石化由来の原料の非使用など、新しいエコロジー包装の開発に努めています。

### 朝日サーキュラー（循環型経済）



## グリーンボンド・フレームワーク

本フレームワークは、国際資本市場協会（ICMA）が定めるグリーンボンド原則 2021 年版、及び環境省のグリーンボンドガイドライン 2020 年版に適合しており、以下の 4 つの項目について定めています。

1. 調達資金の用途
2. プロジェクトの評価と選定プロセス
3. 調達資金の管理
4. レポーティング

### 1. 調達資金の用途

当社のグリーンボンドによって調達された資金は、以下の適格クライテリアを満たすプロジェクトに関連する新規ファイナンスまたはリファイナンスに充当される予定です。なお、資金用途がリファイナンスである場合は、グリーンボンドの発行から遡って 36 か月以内に実施した適格プロジェクトへの支出に限ります。

#### ➤ 適格クライテリア

分類	適格クライテリア
グリーンビルディング	以下、第三者認証機関の認証/再認証のいずれかを取得済みもしくは取得予定の建物の建設・取得 ・ CASBEE 建築不動産評価認証における B+ランク・A ランク・S ランク ・ DBJ Green Building 認証における 3 つ星・4 つ星・5 つ星 ・ BELS 認証における 3 つ星・4 つ星・5 つ星

#### ➤ 適格プロジェクト例

京都クリエイティブパーク西棟建設プロジェクトが該当します。

#### ➤ 京都クリエイティブパーク西棟建設の目的

2015 年 3 月、京都府木津川市のけいはんな学研都市（正式名称：関西文化学術研究都市）において、当社は京都クリエイティブパークを建設いたしました。その後 2020 年 4 月に、同パーク内において、店頭用医薬品パッケージ並びに化粧品パッケージを主体として製造する西棟を建設いたしました。

当該製造棟の新規建設により、市場からのニーズに迅速に対応することが可能となります。また、当該製造棟は、当社の新たなモノづくりを創造する研究開発拠点としての役割も担っております。

既存の東棟と合わせて医薬品・化粧品向けパッケージを網羅して製造が可能となってお

り、更には富山地区と連携した供給体制の構築により、BCP対応面においても、お客様に安心してご注文いただける体制の構築が可能となります。

➤ 京都クリエイティブパーク西棟の概要

名称	朝日印刷京都クリエイティブパーク西棟
所在地	京都府木津川市州見台6丁目3番地
建物概要	鉄骨造2階建
建物面積	6,691 m <sup>2</sup>
再生可能エネルギーの活用	太陽光パネルの設置 81,394 メガジュール

京都クリエイティブパーク西棟外観



### Creative mind

新たなモノづくりの創生開発

- ◆顧客市場動向を先取りした包装資材生産システムの創造
- ◆機械メーカーとの共同開発を行い、新しい付加価値を提供



### Innovation park

革新的な工場

- ◆画期的な省人化ラインと新生産方式の導入
- ◆人工知能(AI)を活用したスキルレス化への取組

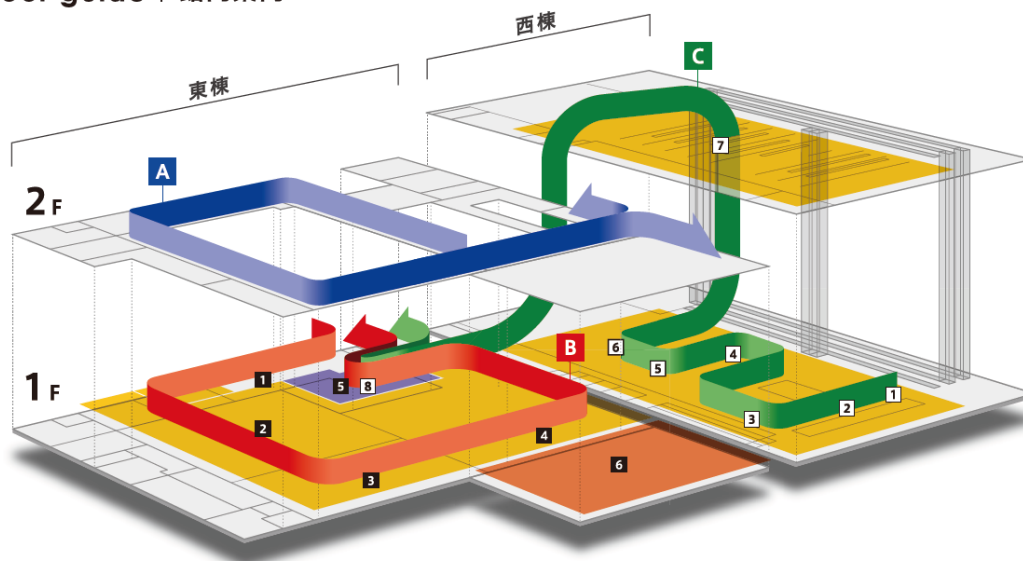


### Harmony with the environment

環境との調和

- ◆ISO14001を取得し、環境マネジメントシステムを構築
- ◆CO2削減、リサイクル活動の推進

## Floor guide | 館内案内



**A** スタジアム感覚で見学可能なラウンド式見学者通路

**B** 東棟の製品の流れ

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 原紙・大断工程 | 3 打抜・抜紙工程 | 5 検査・出荷工程 |
| 2 印刷工程    | 4 糊付工程    | 6 厚生棟     |

**C** 西棟の製品の流れ

- |        |          |        |           |
|--------|----------|--------|-----------|
| 1 大断工程 | 3 表面加工工程 | 5 打抜工程 | 7 糊付工程    |
| 2 印刷工程 | 4 箔押工程   | 6 抜紙工程 | 8 検査・出荷工程 |

## 2. プロジェクトの評価と選定プロセス

### 2.1 選定プロセス

調達資金の用途となるプロジェクトは、当社財務部により当社の経営理念、中期経営計画及び適格クライテリアへの適合が検討され、評価及び選定が行われています。財務部の担当者は、対象となるプロジェクトを資金用途としたグリーンボンドによる調達に関して、関係部署と協議の上で、当社専務取締役管理本部長が取締役会に上程し、当社取締役会で最終決定を行います。

### 2.2 グリーンプロジェクトが環境に与えるネガティブな影響とその対処方法

環境・社会的リスク低減のために以下について対応していることを確認いたします。

- ・ 国もしくは事業実施の所在地の地方自治体にて求められる環境関連法令等の遵守と、必要に応じた環境への影響調査の実施
- ・ 事業実施にあたり地域住民への十分な説明の実施
- ・ 当社の環境基本方針に沿った資材調達、環境汚染の防止の実施

### 3. 調達資金の管理

グリーンボンドによる調達資金は、当社財務部が適格プロジェクトへの充当状況を関連部署と共有したうえで管理します。また、当社財務部は、グリーンボンドの調達額と同額が適格プロジェクトに充当されるよう、四半期毎に内部会計システムを用いて追跡管理します。なお、未充当資金については、現金または現金同等物にて管理する予定です。

### 4. レポーティング

以下の基準に基づきレポーティングを実施いたします。

資金の充当状況に関する 開示方法及び開示頻度	調達資金が全額充当されるまで、年1回、充当状況をウェブサイト上に開示します。
環境への効果に関するインパクト・レポーティングの開示方法及び開示頻度	グリーンボンドの発行残高がある限り、年1回、ウェブサイト上に開示します。
インパクト・レポーティングにおける KPI (Key Performance Indicator)	以下の環境影響指標について開示します。 グリーンビルディング： ① 取得した環境評価認証の種類とランク ② 年間のエネルギー使用量 ③ 年間の CO2 排出量

以上